

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012 年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	大島 智靖 (インド学・仏教学)
-------------	---------------------

派遣期間	2012 年 8 月 1 日 ~ 2012 年 9 月 30 日
------	----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
インド	Pune	University of Pune, Deccan College, Bhandarkar Oriental Research Institute.

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

University of Pune:

<http://www.unipune.ac.in/>

日本の大学の学科のように研究室といったものやサロンはなく、学生は部署と同じ棟にある図書館室に立ち寄る。利用にはペーパーは必要ないようで、直接教授等に掛け合い、許可を得る。

Deccan College:

<http://www.deccancollegepune.ac.in/>

キャンパスは小さく、やはり研究室の類はない。図書館はサンスクリット辞典部門のある棟の向かいにある。考古学関係が特に強い。閲覧にはペーパーは不要であり、教授やスタッフに紹介してもらえば、ライブラリアンに案内してもらえる。紙写本は、ある程度揃っている。また大学では、Sathe 教授によると、大阪大学と提携し交換留学制度を設けることも可能とのこと。

Bhandarkar Oriental Research Institute:

<http://www.bori.ac.in/>

R. N. Dandekar 図書館には書籍が（カード索引）、写本部門の保管庫には写本が大量に保存してある。入口近くの事務室では販売書籍目録が入手できる。会員になれば誰でも利用ができるが、紹介者がいればビジターでも閲覧は可能。会費については <http://www.bori.ac.in/management.html> を参照。複写（有料）については所長の一存で、最初は断られることが多いが、通いつめて世間話などをしつつ懇意になると、かなり融通がきくようになるという。

インドはコネ社会であり、紹介者なしではスムーズに行かないことが多い。ただし、制度が変わる可能性もあり、結局は状況次第であるので、参考程度に留めていただきたい。日本的「親切」や「気遣い」は一切期待すべきではない。